

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	広島県	全般	○	○	◎	○

現状・課題

依然として深刻な鳥獣被害に対し、集落や捕獲従事者の高齢化・マンパワー不足が進んでおり、スマート技術を活用した対策の省力化と効率化が求められる。

広島県においては、令和6年度から、高度な技術力を有するフィールドアドバイザーが自治体における対策を支援する、（一社）広島県鳥獣対策等地域支援機構（通称「テゴス」）を設置し、効果的な対策を推進しており、今回、テゴスによる現状把握・対策・現地指導それぞれの段階において、ICTを活用した対策の実証に取り組み、県内全域への実装と技術の普及を図る。

事業概要

- ・ドローンによる夜間飛行での生息調査や、放任果樹、潜み場、柵の破損の有無等集落点検の省力化
- ・遠隔でのゲート・カメラ操作により、サルを群ごと捕獲する技術の実証
- ・ワイヤーメッシュ柵を用いた安価で設置の容易な囲いわなを、通信圏外でも遠隔操作できるゲートシステムの開発
- ・GPS首輪を装着したサルの群れの位置情報を追払い隊に自動配信する技術の実証
- ・IoT機器による、テゴス本部や専門機関から現場へリアルタイムで遠隔指導ができる技術の実証
- ・ドローンで収集するデータ、目撃情報・被害状況、捕獲確認アプリの捕獲位置、集落調査結果等を無料のGISで見える化し、関係者間で共有
- ・鳥獣対策専門組織「テゴス」に蓄積した技術を県内へ普及

活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・ドローン
- ・通信型スマート捕獲システム
- ・GPS付首輪
- ・タブレット

モデル地区の普及範囲

- ・県内

【イメージ】

